

平成 27 年 11 月 6 日

## 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 運営委員会議事録（11 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、片桐、石橋、木村、葉木、坂内、澤野委員長、事務局天寺

### 1. 濱田代表理事 挨拶

大熊町・会津若松の仮設住宅へたい焼き隊として支援に入った。人口流出が止まらず、復興の現実をみた。大和市社協で「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座」を実施した。この講座では、あえて「コーディネーター講座」とはせず「運営スタッフ養成」とした。真にコーディネーターになれる人材はすぐには育たない。運営スタッフをどれだけ育てられるか、そこが重要である。

### 2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添え資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

- ・ 南三陸への視察を通して。5 年を迎える来年は被災地支援の区切り。被災地では感謝の集いを計画している。
- ・ 田老町消防団長の話。そこの分団員は 1 人の死者も出ていない。なぜなら、事前から津波が何分でくることが分かっていたので、分したら撤退することを分団員はじめ地域住民にも徹底していた。やはり現場で活動する人の安全管理・安全意識を図ることが重要。
- ・ 被災地では、いち早く工場再開した、生活再建できた人とそうでない人との復興格差がでた。現在は建物一つとっても資器材の高騰が当時の 2 倍近い。資器材不足で順番待ち。
- ・ 被災から 5 年、復興のフェーズが変わったことを実感した。

### 3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

#### ▶ 炊飯袋頒布事業の報告

- ・ 第 1 次炊飯袋は本部に在庫 6 セット（120 食分）となったため、第 2 次炊飯袋の発注を行った。納品は 12 月中旬を予定。今回購入した各地域ネットでは 1 年に 1 箱ペースでの消費スピード。今後、座間のように市役所の売店に置いてもらえる（有償で）ような販路が確立されていくと軌道に乗っていくのではないかと。

#### ▶ 理事会報告

- ・ 現在各種規約・規則（経理規則・公印規則・諸謝金支払規則・基本財産維持管理規程等）を作り、理事会承認を得る作業を続けている。
- ・ 2016 年事業計画および予算案の検討も始め、12 月予算理事会にて決める予定。

### 4. 各地域の活動報告

<千葉県>（坂内）

#### ▶ 県ネット・千葉中央ネット（坂内）

- ・ 10/14 千葉県ネット秋季合同研修 NHK 千葉放送局の見学。45 名の申込み。NHK 放送スタジオや耐震免震構造などを見学した。
- ・ 10/11 住宅会社が主催行事のアリオ市原市で「公社」SL 災害ボランティアネットワーク」の名称で義捐金活動を行った。その他地域での義捐金活動を行い 円を常総市へ寄付できた。

- ▶ 印西ネット（石橋）
  - ・ 印西市総合防災訓練に参加。シェイクアウト訓練・搬送訓練を担当。
  - ・ 小林小学校 5 年生生徒父兄合同の防災訓練を担当。
  - ・ 11/14 八街市北小学校にて展示と三角テントを実施する予定。
- ▶ 県ネット・船橋ネットの動向（片桐）
  - ・ 10 月 SL 船橋講座に運営支援。来年から市からの補助金を検討
  - ・ 女子部会 3 月 5 日 12 日男女共同参画センターが主催する市民企画講座へ応募。受託することになり防災講座を実施することとなった。現在、内容を検討している。
  - ・ 習志野市の防災イベントでスタンプラリーの 1 コマとして心肺蘇生法を実施する事となり協力したが、来場者 230 名に心肺蘇生法を体験してもらおうという非常にしんどい取り組みとなってしまった。
  - ・ 11 月飯山満中学校での防災教育事業に協力する。1 年生は備蓄倉庫内の備蓄品見学 2 年生は段ボールトイレの作成と備蓄用品の組み立て 3 年生はクロスロードを実施する。
  - ・ 11/9 千葉県ネット役員会を予定

#### <神奈川>

- ▶ 神奈川県（濱田）
  - ・ 神奈川県教育委員会事業 DIG は続行中
  - ・ 11/15 四季の森公園にて体験コーナー担当。
- ▶ 座間市（濱田）
  - ・ シェイクアウトキックオフ講演会 320 人 温泉地学研究所 先生が講演。2016 年 1 月 23 日座間シェイクアウト。土曜日に実施家族でシェイクアウト
  - ・ 清川村にて災害ボランティア講座実施。村民の 1 % 強参加。
  - ・ 10/12 自然学研究会にて講演。参加者 70 名。
  - ・ 10/16~17 神奈川県ネット野外合宿訓練中止
  - ・ 10/21 港北区災害ボランティアネットワークからの依頼で ZSVN の活動を紹介
  - ・ 10/24 座間職員と自治会の避難所運営訓練。
  - ・ 10/29 神奈川大学にて講演。横浜憲章
  - ・ 11/1 ふるさと祭り 1250 枚販売
  - ・ 11/5 親と子が育つ防災教室 防災講座を実施。90 分目黒巻き簡易版を実施。
  - ・ 11/15 マイ発電プロジェクト事業
  - ・ 防災カフェを出前で行っている。地区のサロンにカフェセットをもって災害時「食う・出す・飲む」の視点を普及している。
- ▶ 藤沢市（葉木）
  - ・ 11/1 藤沢市津波避難訓練を実施。今年は 1000 名の参加。昨年は 1700 名参加した。本庁の指示で実施 職員 60 名参加。地域に浸透していなかった。防災ラジオでも大津波警報が鳴る予定だったのが、鳴らなかった。ラジオ湘南に流れなかった。自動から手動にしたらボタンを押すのを忘れた。
- ▶ 横浜市（沖津）
  - ・ 10/8 城郷高校にて DIG を実施。女子生徒 6 割。50 分で実施。勉強になった。

- ・ 10/24 横浜市保土ヶ谷区狩場町東部自治会防災訓練に支援
- ・ 11/15 四季の森防災講演で展示。横浜市狩場町連合町内会防災訓練

5. 各部会の活動報告

- ▶ 各部会とも 10 月部会は神奈川県ネット合宿への参加だったが雨天ため、中止となった。

**【次回の開催日】 12月4日(金)13時30分～**

## 2015年10月の事業報告と今後の予定

(11月6日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

### 全体事項

- ・自然災害がほとんどなく、不気味に静かだった10月
- ・「都市総合防災研究会」は何をめざすのか
- ・1月15日正午に他団体と一緒に防災合同新年会開催予定
- ・南三陸町と岩手県沿岸を訪問して感じたこと  
南三陸、遠野、NPO、消防団

### 1、防災とボランティアをめぐる情勢

#### 1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・第3次安倍改造内閣発足 10.7  
防災担当相・復興担当相の軽視続く
- ・川内原発2号機再稼働 10.15
- ・伊方原発3号機再稼働を愛媛県知事同意 10/26

#### 1-2 災害,大規模事故分野

[国内] ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、関東は震度4以上)

- ・鳥取県中部での群発地震 10/17-18
- イ 火山(気象庁発表の週間火山概況他)
- ウ 風水害
- オ 事故等

[海外] ア 地震(USGC発表、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

- ・アフガニスタン M7.5 深さ212km 死者364人以上 10/26
- イ 風水害
- ウ 事故等

#### 1-3 防災行政等の動き

##### ア 政府

気象庁 ・10/9 エルニーニョ監視速報 続いている。

イ 自治体 ・防災ブック「東京防災」 学校用ワークシート

##### ウ 被災地状況

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 19万0541人 前月比-4252人 10/8現在
- ・南三陸町と岩手県沿岸を澤野委員長が訪問

##### エ 防災訓練等

・津波防災の日 11/5 「世界津波防災の日」を国連で提案

#### 1-4 災害ボランティア等の動き

- ・関東・東北豪雨でのボランティア活動 常総市災害ボランティアセンター開設中、他は閉鎖。
- ・[情報] 連合会長に神津氏(JBU) 10/7就任とJBUパワーバンク

#### 1-5 注目すべきメディアと書籍、イベント等

- ・TV [NHKスペシャル] さまよえる原発事故のゴミ(仮) 11/21

### 2、この間の主な活動と今後の予定

## 2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

## A、災害ボランティアリーダー養成事業

## ア 全体的な到達点

本部講座 8,936 人 公認講座 1,860 人\* 計 10,796 人 11/5 現在  
講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策を

## イ 本部主催の S L 養成事業

- ・[ 終了 ] 船橋市講座 10/2-3-4
- ・[ 開催中 ] 立川講座 10/31 11/7-8

## ウ 大学等受託の S L 養成事業 ・目白大学、専修大学他

## エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

## B、防災・減災啓発推進事業

## ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・[ 締切 ] 都市総合防災研究会セミナー 11/19
- ・[ 予定 ] 首都直下地震大学生の集い ( 仮 ) 1/28

## イ 本部受託の事業

## ウ 他主催の事業への協力

## C、各地域の災害ボランティア活動報告

## D、その他

## ア ロータリークラブ 10/5 南三陸町志津川中学校放送設備改修

## イ 社会デザイン学会 10/31-11/1 岩手県被災地研修

## 2-2 総合的な防災事業

## A、シェイクアウト事業 ( 防災訓練事業 )

## ア 全体的な到達点 2015 年 累計約 514 万人

イ 特徴的な動き 新規 宮崎県、愛媛県  
熊本 41 万、愛媛 22 万、香川 23 万、宮崎 5 万  
11 月 5 日 津波防災の日

## B、防災教育推進事業

## ア 防災教育チャレンジプラン ( 内閣府共催 ) 事業

- ・ [ 報告 ] 防災教育交流フォーラム 10/17-18
- ・ [ 報告 ] 防災教育実務者セミナー 10/17

## イ 防災教育普及事業

- ・ [ 報告 ] 東京都公園事業指定管理者 11 月上旬頃結果公表
- ・ [ 報告 ] 安全教育学会年次大会 東京 10/24-25  
澤野委員長が講師として話したこと

## ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・ [ 各地 ] 学校での防災教育支援

## C、被災者生活再建支援事業

## D、防災研究事業

以上